

里山の野草 採った 食べた

上毛 専門家講演、料理家が調理

野草の魅力に触れるイベント「こづげの草をいただく秋2016」が15日、上毛町下唐原のふれあいの家京築で始まった。地元京築や北九州、福岡などから約50人が参加。専門家の話を聞き、里山を歩いて見つけた野草を味わった。



町が定住促進事業の一環として開催した。各地の薬用植物を調査している崇城大名誉教授の村上天太郎さん(71)は講演で、「野草の苦みや渋み、えぐさは健康によく、病気を治す効果も大きい」などと話し、オオバコやイタドリ、シソといった野草の薬効や利用法などについて、大型スクリーンを使って説明した。

その後、会場周辺を散策して野草を探し、福岡を拠点に活動する料理家、井口和泉さんと一緒に料理した。16日も、事前に申し込んだ参加者が、村上さんと野草ピザ作りなどを体験する予定という。

(小浦雅和)

野草の写真を示しながら薬効などについて話す村上天太郎さん
上毛町下唐原